



デジタル田園都市国家構想推進交付金

こうのとりのパートナー事業

6月
定例会
5/19 ~ 6/10

令和4年6月定例会は、5月19日から6月10日までの23日間の会期で開かれ、市長から提出された「令和4年度鴻巣市一般会計補正予算(第2号)」など12件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり可決しました。

また、委員会提出議案として2議案、議員提出議案として3議案が上程され、そのうち4議案は原案のとおり可決しましたが、1議案は否決となりました。

補正予算 デジタル田園都市国家 構想推進交付金

この交付金の具体的な対象は。

デジタル技術の活用により、地域の個性を活かしたサービスを地域や暮らしに実装する事業の立ち上げに要する経費です。

具体的な構想、活用方法は。



ドローンによる公共施設の精密点検や三次元図面の作成です。ドローン点検で初期段階の不具合を見つけ、安全性を向上させます。三次元図面については、公共施設の中を歩いているように施設の様子が見られるパノラマビューに平面図や立面図をデジタル化して、立体的な図面を作るものです。これにより施設の管理が効率的に行われ、安全性・利便性の向上に繋がります。

補正予算 こうのとりのパートナー 事業

印刷製本費の主な内容と印刷物の活用方法は。

主な内容は、マルシェやコウノトリ野生復帰センター主催のイベント情報を掲載した2次元コード入りの

チラシの印刷です。チラシは、天空の里、市役所本庁舎、両支所、公民館等に設置する予定です。チラシに2次元コードを入れることにより、

電子申請システムのアンケート機能へのアクセス用URLや地域情報ポータルサイト、こうのす広場内に設置するこのとりマルシェ特集ページや市ホームページ、天空の里やコウノトリ関連動画配信ページ等が容易に閲覧可能となり、地域産業の振興や天空の里への来場者の増加につなげていければと考えています。



補正予算 新型コロナウイルス 自宅療養者支援

コロナに感染し、自宅療養をしている人に食料などを宅配しているが、これまでの実績は。

令和3年度については、1月から3月までの状況となり、自宅療養者数は3506人、パルスオキシメーターの配送数は1450個、食料支援は891人分対応しました。また、4年度に



については、4月から5月30日分までに、自宅療養者数は1763人、パルスオキシメーターの配送数は803個、食料支援は289人分対応し、合計で自宅療養者は5269人、パルスオキシメーターの配送数は2253個、食料支援は1180人分対応しました。

その他 市道の路線の廃止及び 認定

団産業団地の進捗に伴って廃止となる市道のその後の処分は。

本議会で承認後、2か月間の管理期間を経て、9月定例会で財産の処分の議決後、県に譲渡する予定です。団産業団地のその後の計画、事業の進捗は。

現時点で県のスケジュールでは、夏頃に企業の方譲募集を行い、秋頃に造成工事に着手し、工事着手前には周辺住民を対象とした説明会を行う予定とのことです。令和7年2月、3月頃には造成工事が完成すると聞いています。

県で産業団地を整備するのであれば道路整備も県に依頼できないのか。道路路整備については、造成工事にあわせて県でできないか協議をしたと考えています。



マチイロ 掲載しています。

スマートフォンでこのす「議会だより」をチェック!



本会議映像(ライブ・録画)をインターネット配信しています。

鴻巣市のホームページから鴻巣市議会→議会中継にてご覧ください。

